

▼北陸

【富山】笑顔でつなぐ

「酒とグルメの会」発足

この4月、これまでの8つの同好会に加え、新たな会「酒とグルメの会」(仮称)が発足し、会員数は大所帯の24名にもなりました。

テレビではグルメ番組が溢れています。B級だの、大盛り激安だのと衆目を集めています。食の楽しさは想像を超えた味や香りに出会う喜びだと云われています。

この会はグルメもお酒も主役。酒は地ビールにワイン、そして奥深い地酒です。

地酒は県内に20の酒造場があり、2020年、16の酒蔵が協力して富山ブランドを発売し、話題になりました。



醸造文化で培われた富山の酒

もう既に「酒蔵巡りとジビエ料理」「北陸育ちのワイン会」など企画が挙がっています。

幹事が頭を痛めるのがお店への予約人数です。地元密着型の店情報にアンテナを張って、さあ「ビアガーデン」から始動です。

【石川】馴染みのナンバーに

聞き入る

石川の総会は4月23日に開催。会員と来賓、ゲスト合わせて46名が集まりました。今年の総会は2年ごとの役員交代があり、新会長にI・T・Cの永山徹さんを選出。

永山新会長は「2年間、北陸の幹事クラブになります。いろんな企画を考えて楽しいクラブにしていきたい」と抱負を語りました。日本民放クラブから木村寿行事務局長、富山・石黒一成理事、福井・小川忍副会長にご出席いただきました。

懇親会のゲストは女性ボーカルとフルート、ギターの3人のグループ。曲目は会員の年齢に合わせて(?)馴染みの曲に聞き入った一時を過ごすことができました。感謝です。

福井、富山のみなさま、今年か

ら2年間、幹事クラブを務めます。よろしく願います。



【福井】総会と懇親会

4月17日、神明神社参集殿で、北陸民放クラブ・福井 令和6年度総会が開催されました。小川会長の挨拶の後、6年度事業報告・収支決算報告、7年度事業計画・収支予算案が承認されました。当クラブはFBCとFTBが2年交代で幹事社を務めており、新年度はFBC伊藤貴夫が会長に選任されました。今年の記念講演は「ふくい歴女の会」会長の後藤ひろみさんが『リケジョがレキジョになったワケ』と題し、福井高

専を卒業されたリケジョが現在、福井県歴史活用コーディネーターとして活動するようになったご自分の歴史を熱く語られました。懇親会には、日本民放クラブ榎本理事、石川・原副理事長、富山・石黒理事長も駆けつけていただき楽しいひと時を過ごしました。

